

LIVING in USA

米国の住まいを豊かにするページ：住居から考察するNYライフスタイル



NY市長公邸グレイシー・マンション

市長が幽霊の存在語る

10日にヤンキー・スタジアムで行われたNYヤンキー対トロント・ブルージェイズの試合の始球式で投げたエリック・アダムスにNY市長は、試合観戦中のインタビューで、同市長公邸グレイシー・マンションに幽霊がいると伝えた。市長公邸に満足していないのか、というヤンキースの記者が、同市長の話を聞いたのか、という問いに対しては「いつもだ、いつも。そこらじゅうに忍んではいる。同公邸の幽霊について言及したのは同市長が初めてではない。ビル・デブラシオ前市長の妻チャールズ・マクレイ氏は2017年、築223年の同邸で、当時の所有者アーチボルド・グレイシーの娘のささやき声を聞いたことがある」と「彼女を実際に見たことはないが、扉が勝手に開閉したり、まるで誰かが部屋の中を歩いているかのような床がきしむ音がした」と話した。

同邸宅は、当時のNY市北端部から数マイル北部、ちょうどイースト・リバーがカーブする景観が美しい場所に1799年に建てられた。100年後に同市が購入し、今日のヨークビル地区のカール・シュルツ公園の一部となった。当時は同市立博物館だったが、1942年以降、市長公邸として利用されるようになった。



NYの伝統と日本の古民家風スタイル 洗面所を和洋折衷のデザインに改修



最近では日本でも古い民家を購入して、全てを取り壊してしまうのではなく、古い建築の魅力を残しながら、洗練された現代的なデザインと折衷させて、とてもいい雰囲気的生活空間を作り上げています。

上の写真は、日本の古民家風トイレです。ニューヨーク市の歴史建造物保存法で認定されたビルの中にあるアパートの中に作りました。ニューヨークスタイルと和風で対照的に思えますが、両方のいい所を使い和洋折衷させたという意味では、とても画期的なスタイルの結合だと思えます。

トイレは日本と同じ温水洗浄付きの快適トイレです。フラッシュレバーはドアレバーに合わせて金色にして高級感を出しました。床は石畳風、シンクのカウンターは木で、わざと木のフロントを直角ではなく、少し斜めに切っています。ペンダントライトと、鏡とシンクはオルガニックな形状にしています。フオーセットも和風の物を付けました。ダクトのカバーも日本風のものを探してこだわりました。

小さいアパートでも低予算でもリノベーションとデザインのことなら、夢を捨てないで、インテリアデザイナーに相談してみるのも一考です。

問い合わせは電話917-720-3717、Eメール akino@interiordesigncrafted.com 秋野さん

(写真提供・interiordesigncrafted)



大きすぎ、小さすぎ、 御社のオフィスの不満を解消します

リダック商業不動産にご相談ください

日系企業と米国の商慣習を熟知したプロによる商業不動産の仲介・コンサルティング

Relo Redac, Inc. | リダック商業不動産 ☎ 212-355-0011 ✉ commercial@redacinc.com